

フードディフェンス(食品防御)の今後の展望

従来、食品安全確保の考え方は、通常起こり得る微生物や化学物質等のリスクのコントロールを目的とした衛生管理等に主眼が置かれていました。しかし、2001年9月の米国における同時多発テロ以降、米国では食品がテロの標的になるとの危機感を強め、2002年にはバイオテロ法を制定し、フードディフェンスの取り組みを進めています。また、我が国においても、2008年の中国産冷凍餃子による中毒事案を契機にフードディフェンスの取り組みの必要性が強く認識されるようになりました。また、我が国の食品産業と中国とは密接に関係していますが、その中国においても、「食品防御計画の確立と実施に関するガイドライン案」が示され、中国においても今後フードディフェンスの取り組みが推進されます。

このように、従来の衛生管理に加え、意図的な危害物質の混入による「食品テロ」など、通常起こり得ないリスクに対する防御、いわゆるフードディフェンスの重要性が認識されており、本セミナーにおいて、我が国及び中国において今後のフードディフェンスの観点からどのような対策を講じる必要があるのかなどについて講演致します。食品関連事業者及びセキュリティー関連事業者の皆様のご参加をお待ちしております。

【セミナー内容】

<講演>

1. 食品防御に係るセキュリティシステム(食品防御プラン)の構築の基本的な考え方について

講師：(財)日本冷凍食品検査協会 常務理事 東島弘明氏

(元 厚生労働省神戸検疫所輸入食品・検疫検査センター長)

2. 国際物流におけるセキュリティー対策について

講師：(社)日本貨物検数協会 技術顧問 佐藤守信氏

3. 中国における食品企業のフードディフェンスの現状について

講師：煙台北海食品有限公司 総経理 藍 明德氏 (使用言語：日本語)

4. 米国におけるフードディフェンスの取り組みについて

講師：(社)日本食品安全支援機構 理事長 平野展代

(前 厚生労働省食品安全部企画情報課情報管理専門官)

【日 時】平成21年8月5日(水) 14:00~16:45 (受付13:30~)

【場 所】千代田区立 内幸町ホール (東京都千代田区内幸町1-5-1)

【主 催】(社)日本食品安全支援機構

【定 員】150名

【資料代】1000円(当日受付にてお支払い願います。)

交流会(任意参加)

【日 時】平成21年8月5日(水) 17:00~19:00

【場 所】中華料理「萬里」(千代田区内幸町2-2-2 富国生命ビルB2)

【参加費】3000円

【申込方法】

当機構のウェブサイト(www.japan-group.or.jp)より、セミナー申込フォーマットに必要事項を記入し送信してください。後日、参加票をFAXにてご送付いたします。なお、**交流会のご出欠について、備考欄に記入をお願いします。**

申込締切：平成21年8月3日(月)(定員になり次第締め切らせて頂きます。)

●問い合わせ先●

(社)日本食品安全支援機構

TEL:043-306-1611 FAX:043-306-1600

E-mail: food-safety@japan-group.or.jp